

京都大学の火山研究施設が一般公開を実施

京都大学では、長年にわたり火山噴火の仕組みの解明と噴火予測・防災を目的とした観測研究を進めています。特に阿蘇山と桜島は重要な研究対象で、地震計、GNSS、傾斜計、ひずみ計などを用いた連続観測により、マグマの移動や火山体の膨張・収縮を捉える研究が行われています。阿蘇山では、巨大カルデラを形成した過去の大規模噴火も視野に入れながら、火口周辺の地震・地殻変動・火山ガスなどを総合的に観測しています。桜島では、頻繁に発生する噴火を対象として、地下のマグマ供給系や噴火直前の地球物理学的変化を高密度観測によって調べています。こうした現地観測に、衛星観測、火山ガス・地球化学的研究、数値シミュレーションなどを組み合わせ、噴火の発生過程を理解し、火山活動評価と地域の防災・減災につなげる事を目的としています。

７月25日、熊本県南阿蘇村の高台にある京都大学火山研究センターと、桜島で観測や研究を続けている火山防災研究センターの施設の一般公開が行われました。

阿蘇では「砂を熱してマグマを作る？」といった実験も行われました。次の URL に動画を含むニュースが公開されています。

https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rkk/2826380?display=1&mwplay=1
https://news.yahoo.co.jp/articles/b9ecb1b905726a739fda491c2e79a3f3495384c1

同じく7月25日、桜島でも観測施設の一般公開が行われました。

https://news.web.nhk/newsweb/na/nb-5050036221

一般公開参加者は、桜島の東側の観測拠点、「黒神観測室」で、１９１４年の「大正噴火」で降り積もった軽石や、火山灰でできた高さ２メートル近い地層に触れ、噴火の規模の大きさについても学びました。

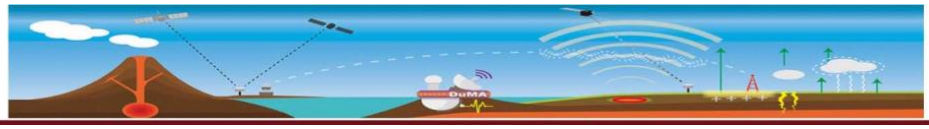
十勝岳が22年ぶりに噴火

北海道の十勝岳で比較的小規模ながら22年ぶりの噴火が観測されました。次のニュースで、7月22日午前、十勝岳が噴火する瞬間をとらえた映像を確認する事ができます。

https://news.yahoo.co.jp/articles/73397eb2330ab2d02a672502e119a63ab6ffc884

噴火は2004年以来という事です。十勝岳では火山活動が高まっていて、6月18日にはごく小規模な噴火が起こる可能性があるとして、気象庁は噴火警戒レベルを「1」から「2」に引き上げていました。

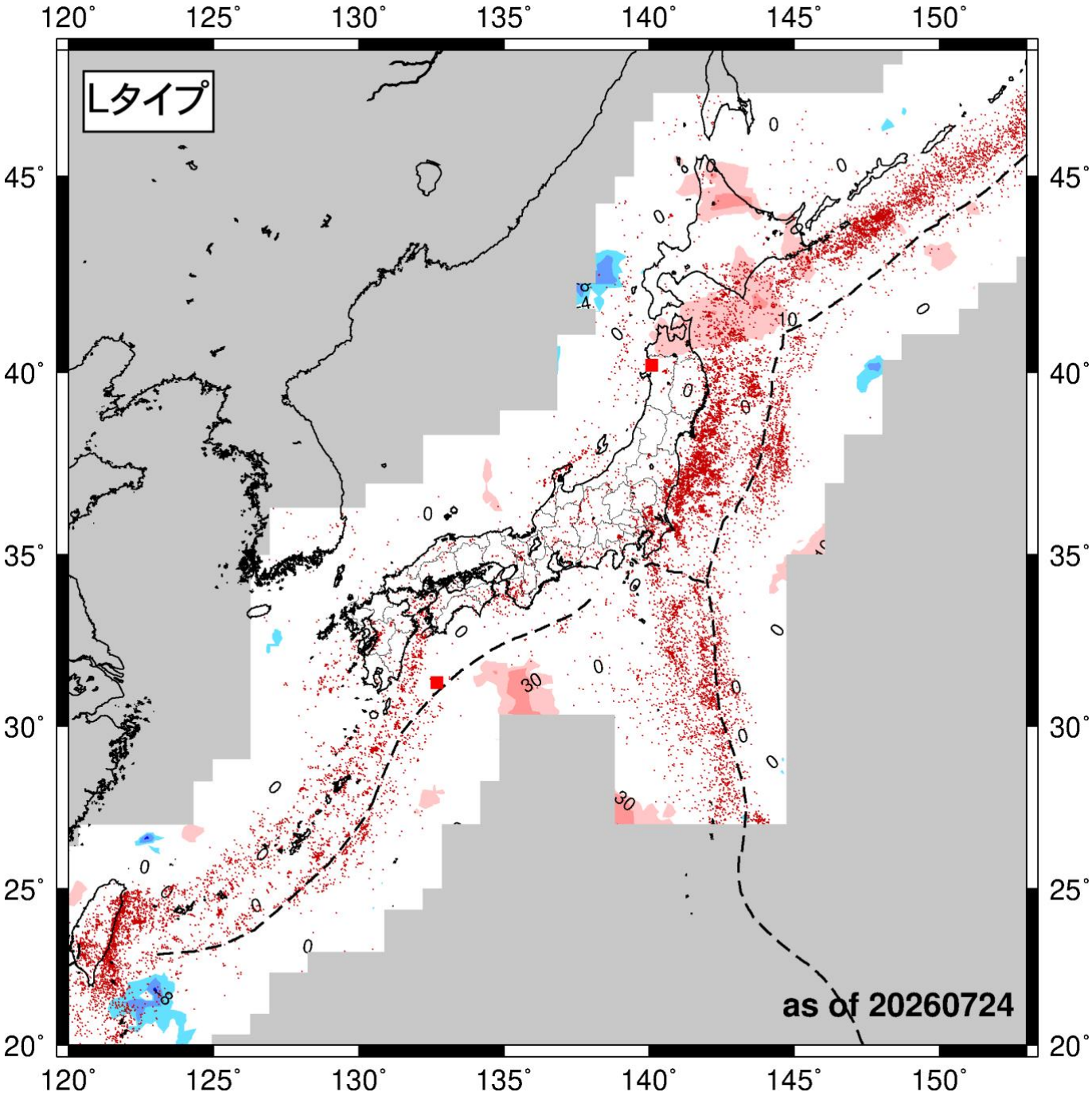
DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権はDuMA Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は DuMAが独占ライセンスを受けている登録商標です。



日本およびその周辺の広域地下天気図®

6月15日のニュースレターに続き、現在の気象庁の観測網で解析できる最大範囲の領域の解析です。今週号では7月24日時点のＬタイプ地下天気図をお示しします。

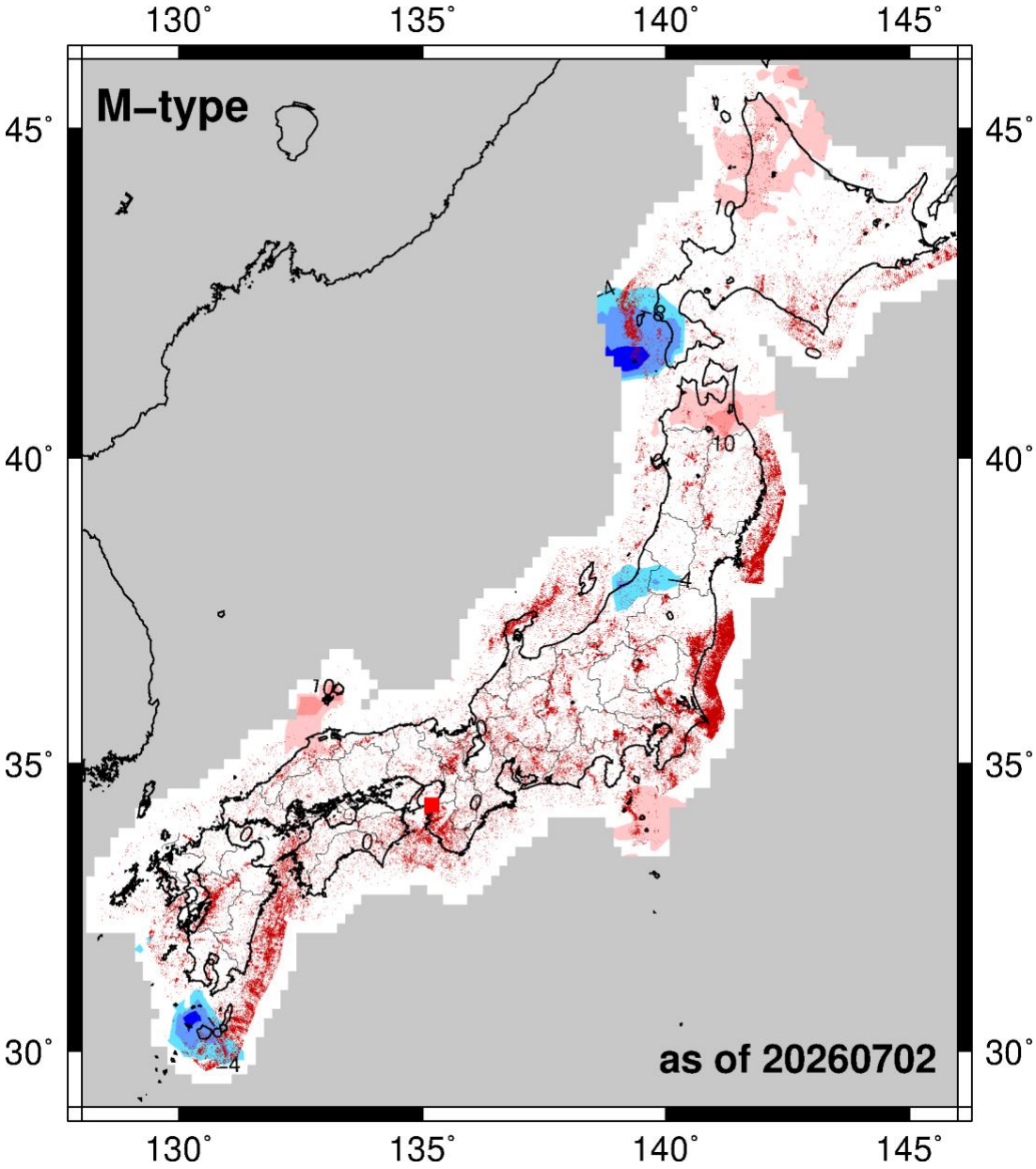
この地下天気図解析では原則マグニチュード7クラスの地震を対象としたパラメータを設定しています。6月15日の解析では、日本列島およびその周辺海域には顕著な地震活動静穏化領域は確認されていませんでしたが、今週の解析では、北海道西方沖に青い地震活動静穏化領域が出現している事が判明しました。



また台湾南東沖の静穏化も前回の解析より、はっきりとしてきました。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権はDuMA Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®はDuMAが独占ライセンスを受けている登録商標です。

北海道西方沖の地震活動静穏化ですが、7月６日のニュースレターは M6クラス程度からの地震を対象としたパラメータを設定していますが、こちらの地下天気図でも同じ領域で地震活動静穏化が確認されており、この静穏化はかなり確度の高い静穏化と考えています。



7月６日のニュースレターの地下天気図の再掲、M6クラス以上を対象とした解析

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権はDuMA Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は DuMAが独占ライセンスを受けている登録商標です。